

福井県の児童生徒におけるアレルギー性症状

および花粉症等の有症率と地域差

出典 北陸公衆衛生学会誌 (0386-3530) 33 巻 2 号 Page98-103 (2007. 03)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2007209437>)

著者 松井利夫 他

調査地域 福井県嶺北地方 (福井市、大野市、三国町、坂井町、鯖江市)

調査時期 2004 年 1 月～2 月

調査対象 小学生、中学生

依頼数 5195 人

回収率 小学校 (福井市 : 96. 4%、大野市 : 97. 2%、三国町 : 95. 1%、坂井町 : 99. 5%、
鯖江市 : 93. 6%)
中学校 (中学校 : 90. 9%、大野市 : 89. 2%、三国町 : 92. 7%、坂井町 : 95. 0%、
鯖江市 : 77. 3%)

有効回答数 (率) 4709 人 (90. 6%)、小学生 : 1679 人 (96. 3%)、中学生 : 3030 人 (87. 8%)

診断方法 アレルギー性症状の「現在」もしくは「過去」での有無を質問

有症率	目鼻症状	花粉症	呼吸器系症状	アレルギー性鼻炎
福井市 :	39. 4%	11. 8%	15. 5%	19. 5%
大野市 :	40. 2%	12. 3%	13. 4%	21. 4%
三国町 :	41. 3%	9. 8%	18. 6%	16. 7%
坂井町 :	31. 1%	6. 4%	11. 1%	13. 5%
鯖江市 :	33. 2%	9. 8%	10. 8%	12. 9%

その他の有症率	皮膚症状	アレルギー性皮膚炎
福井市 :	29. 5%	13. 2%
大野市 :	27. 5%	11. 8%
三国町 :	30. 0%	15. 7%
坂井町 :	27. 4%	15. 6%
鯖江市 :	30. 9%	15. 1%

アレルギー症状の有無

現在症状有り :	42. 3% (1991 人)
過去に症状があった :	14. 6% (689 人)
症状なし :	38. 2% (1799 人)

調査概要

福井県の小中学生のアレルギー性症状の調査論文。
女性では目鼻症状と花粉症の割合が加齢に伴って増加していた。
また、アレルギー性症状を有する割合は市街型より農村型地域において低くなっていた。